

# 概要

令和元年9月14日（土曜日）と15日（日曜日）の2日間、「ファミリーキャンプ体験会」を開催しました。

当日は、テントサイトで家族テント泊をしました。集合後、はじめてのつどいで初顔合わせ。その後、ミステリーウォーク。夕食では野外炊事でおしくいただき、夜はキャンプファイヤーで盛り上がりました。翌日は、ペットボトルを使ってペットボトルロケットを講師の先生の指導のもとに製作し、午後からは、荒神山公園で発射実演。どの家族も勢いよく飛び出すロケットに満足げでした。

## 本文

9月14日（土）から15日（日）にかけて、荒神山自然の家において「ファミリーキャンプ体験会」を開催しました。

この体験会は、家族を対象に、荒神山自然の家でのキャンプや野外炊事等を通じて、野外での自然体験活動の楽しさを体験しながら、家族間の交流を図ることを目的に、例年実施しているものです。

今年の天気は、台風や秋雨前線の影響で天候も不安定な日が続き当日の天気を心配しましたが、当日はやや気温が高かったもののある程度湿度も低く穏やかな日の中での実施となり、抜けるような青空のもと絶好のコンディションに恵まれ、予定通りの活動ができました。

1日目の14日の受付は午前10時からはじまりました。今年は、応募がたくさんあり予定していた家族数より少し枠を広げて6家族、計24名の参加となりました。残念ながら定員オーバーでご参加ができなかった家族の方々、この場をお借りしてお詫び申し上げます。年齢も最年少は、2歳の幼児から、幼稚園年長児、小学校低学年、中学年、中学生そして、保護者と幅広い層からご参加していただきました。また、参加家族もキャンプは初めてという方や数回参加の家族もあつたりといろいろでした。

まず、不安と緊張の中で集まったファミリーの緊張を解きほぐすために家族紹介を行い、家族同士・子どもたちが打ち解けあった後、就寝場所となるテント設営を行いました。テントをたてたことがない家族も、みんなが協力し合い組み立て、頑張る姿が目につきました。人数が多い家族は、テントを2張連結してトンネル形のテントを設営しました。

その後、食堂で作っていただいたおにぎり弁当を頬張り、記念のキーホルダー作りをしてしばしリラックスタ



イム。次に控えた荒神山ミステリーウォークに備えました。ミステリーウォークとは、途中



中で地図を発見したり、5つのポイントの暗号文をそろえそれを家族で解読し「お宝」をゲットします。まず、自然の家を出発しウォークラリーのBコースで途中赤い階段の所までを登り、林道に出て千手寺に立ち寄り、座禅体験。この座禅体験は意外だったようで、参加された方からも心が落ち着く時間を家族で共有できたことが好評でした。その後、参道

を下り、宇曾川沿いに並べたりバーボートで約600メートル、ちょうどそこは自然の家の活動メニューの1つになっているリバーボート活動のボート乗り場までこいでいきました。少し予定していた時間よりも長くなったためコースを急遽変更して自然の家に戻りました。



そして、夕飯の準備に。夕飯は野外炊事です。メニューは、ダッチオーブンで「まるどりのチャーハン焼き」屋台形式の「焼きそば」「お好み焼き」「ちゃんちゃん焼き」です。それぞれの家族が協力して、火をおこしたり、野菜を切り分けたりと分担して所員の手ほどきを見て手際よく調理しました。自分たちの作った夕ご飯を、夕暮れの中で美味しそうに食べていました。



その後、つどいの広場でキャンプファイヤーです。多少風が吹いて火の粉の散ることが心配でしたが、風も吹き弱り、暑くもなく寒くもなく絶好のコンディションのもとで開催でき安心しました。支援スタッフの楽しい会話やスタンツ、ゲームなどで楽しい時間を全員で共有しました。また、パネルシアターなどみんなで楽しく過ごしました。ちょうどファイヤーも燃え尽き、みんなのひとつになった気持ちをチャコールアートでハート型に表現しました。入浴が終わりテントサイトに戻り、いよいよ就



寝です。一日の心地よい疲れを癒し、ゆっくり過ごしました。夜になると一段と寒くなると思って、布団や毛布をテントの中に仕込んで、万全の対策をとっていましたが、幸い思っていたよりも寒くならずすみ、中には眠れなくて遅くまで起きていた方もありましたが、気づくと、いつの間にか、みんな、すやすやと寝息を立てていました。

2日目の15日（日）は、自動放送による6時の起床。朝6時40分からの「朝のつどい」で1日がスタートしました。毎日の日課で朝の目覚めの早い家族は、まだみんなが寝息をたてている前から起き出しました。早朝は、肌寒さを感じるので、みんな揃ってラジオ体操です。ぐっすり眠れた人も、そうでない人も、みんな揃って、気持ちよく動き、新鮮な空気を身体いっぱいに感じました。

その後は、朝食を食べてから、それぞれが寝たテントの後片付けをしました。そして、2日目の創作活動の体験に移りました。

創作活動は、家族で事前に準備したペットボトルを活用しペットボトルロケットを講師の松下先生の指導の下、家族で2から5台ほど製作しました。様々なロケットのバリエーションや形があり、午後からどんなように飛んでいくのかとても興味がわいた時間でもありました。ボランティアスタッフも作成し、ともに飛ばすことになりました。



創作活動の体験終了後、食堂でカレー

一定食をとった後に、テントの後始末を行い、みなさんで記念写真を1枚。その後、荒神山公園に移動をして、講師の先生が事前に発射台を準備していただき、各家族でペットボトルロケットを勢いよく発射しました。「60メートル飛ばば・・・」などとおっしゃっ



ておられたのですが、あにはからんや、ほとんどのロケットが80メートルは楽に飛んでいきました。中には100メートル飛ぶロケットも数台あり、なんと1番とんだロケット

の記録は134メートル。これには、みんなびっくり。飛ばした家族は大喜び。閉会式で、1番飛んだで賞ということで「家族用塗り箸5本セット」をゲットされました。



楽しい時間を過ごした後は、自然の家学習室に戻りアンケートに記入をしていただき、おわりのつどいを行って15:00頃に解散となりました。

参加してよかった、楽しかったや今度も参加したい、参加家族の数を増やしてほしいなどの声をいただきながら、事故等もなく盛況のうちに終わられました。

参加されたみなさま、お疲れ様でした。今後もいろいろな改善や工夫を凝らし、新しいジャンルに挑戦しつつ、自主事業を展開して参りたいと考えております。ご支援よろしく申し上げます。